

第 3 回 てだこ浦西駅交通結節機能強化検討会

会議資料（本編）

目次

1. 検討スケジュール	・・・	p.1
2. 第2回検討会における意見と対応	・・・	p.4
3. PI実施結果（追加分）	・・・	p.8
4. 整備計画（案）	・・・	p.14
→ 別紙 資料2 参照		
5. 次年度予定の実証事業(案)について	・・・	p.15
6. 意見交換	・・・	p.21

1. 検討スケジュール

1. 検討スケジュール

1-1. 全体スケジュール

2

- 令和6年度は、現状分析・課題把握等を行い、関係者へのヒアリング・住民等へのアンケート調査を実施し、関係者会議による意見交換も踏まえ、交通結節機能強化に関する**整備方針案を整理**した。
- 令和7年度は、より幅広かつ的確に意見を抽出する目的で、**住民等参加型のワークショップ等（PI）を実施**し、有識者及び交通事業者等も含めた検討会にて意見交換を行ったうえで、**交通結節機能強化整備計画（案）を作成**する。
- 令和8年度は、上記の検討を踏まえ、必要な機能において**実証実験等を実施**し、**交通結節機能強化整備計画を策定**する。

令和6年度

■ 整備方針（案）の作成

令和7年度

■ 検討会の設置

有識者、交通事業者、民間事業者、関係団体、行政等の関係者からなる検討会を設置し意見交換を実施。

■ PI（住民等参加型）

住民や学生等によるワークショップや、アンケート等により意見抽出。



ワークショップ



オープンハウス

令和8年度

■ 実証実験の実施

端末交通等の試験的導入、憩いの場・デジタル案内板の仮設置など、必要な機能において実証実験を実施。

■ 整備計画の策定

PI、実証実験等を踏まえ、整備計画を策定。



デジタルサイネージ案内（事例：岐阜駅）



にぎわいイベント（事例：ゆいレールまつり）

令和9年度以降

■ 事業の実施・展開

整備計画を踏まえた事業着手、関係機関連携のもと各主体において事業の展開を図る。

2. 第2回検討会における意見と対応

2. 第2回検討会における意見と対応

2-1. 第2回検討会（11/19）における主な意見と対応状況

5

意見区分	意見要旨（構成員）	対応（事務局）
整備計画（素案）の全般的な内容について	✓ 高規格道路との結節が重要なため、 <u>交通機能に重視した整備方針とした方がよいのでは。</u> ✓ <u>各機能が、それぞれ誰に、何のために、どのように使われるか</u> についてビジョンがあれば、どのような機能が必要であるか、 <u>重視すべき機能、優先順位が見えてくるのではないか。</u>	➔ 整備計画（案）で整理。
	✓ 地域住民のためか、観光客のためかという視点を持って検討を行う必要がある。	➔ 両者の視点を踏まえながら、将来目指すたこ浦西駅に相応しい機能を整理する。
	✓ 子育て支援機能については、行政が関わる事業は市町村単位で実施されるため、広域利用を前提とした施設の実現は難しい部分がある。	➔ 引き続き関係者との協議を踏まえ必要性等を検討する。
交通結節点について	✓ てだこ浦西駅で <u>路線バスを拡充する場合、休憩機能などの環境整備が必要</u> である。	➔ 整備計画（案）へ反映。
	✓ 実証実験として、 <u>バスのリアルタイム運行情報を提供するデジタルサイネージの導入が必要</u> である。	➔ R8年度実証実験で実施予定。（リアルタイム運行情報も掲載する方向で調整中）

2. 第2回検討会における意見と対応

2-1. 第2回検討会（11/19）における主な意見と対応状況

6

意見区分	意見要旨（構成員）	対応（事務局）
駅周辺及び各地域を繋ぐ移動手段について	✓ <u>駅周辺の巡回バスやコミュニティバスについては、需要も踏まえ、市町村間の連携やデマンド交通など多様な手段の検討が必要</u> である。	→ 関連自治体（浦添市・西原町・宜野湾市・中城村）と連携し、各地域とてだこ浦西駅のアクセス強化を検討する。
	✓ 超高齢化社会に向けた地域住民のための施策として、シニアカーのシェアリングなども考えられる。	→ 駅周辺においては高齢者の利用ニーズも多い状況であるため、他事例等も参照し各自自治体と連携した取り組みを検討する。
レンタカー移動について	✓ 県内では <u>特に那覇空港でレンタカーがひっ迫している状況であるため、てだこ浦西駅を活用した取り組みが必要</u> である。	→ てだこ浦西駅を活用した（中北部方面への）観光移動への対応として、駅でのレンタカー受渡機能等について引き続き検討する。
	✓ てだこ浦西駅でレンタカー受渡機能を設ける場合、法的な確認が必要。	→ 交通広場等において、 <u>一般車乗降場を占領し、他の利用者の不便等に繋がる場合は対処が必要</u> である。その他、駐停車禁止区間での長期停留などについては、 <u>道路交通法上の問題もあるため、引き続き関係機関等へ確認のうえ、必要性も踏まえ検討</u> する。

2. 第2回検討会における意見と対応

2-1. 第2回検討会（11/19）における主な意見と対応状況

7

意見区分	意見要旨（構成員）	対応（事務局）
P&R駐車場の利用について	✓ P&R駐車場についてリアルタイムの満空情報をHP上に公表したほうがよい。	➡ 対応方法含め検討中。
	✓ P&R駐車場の定期利用者の条件設定の見直しについて検討してはどうか。	➡ 対応検討中。
	✓ 広域的な交通の観点から、P&R駐車場によって円滑化を目指すのは容量からも無理があるのではないかと。クルマだけに頼るのではなく、 <u>高速バスの起終点とするなど検討する必要がある。</u>	➡ （幸地IC(仮称)開業等により） <u>今後想定される広域利用ニーズに対応するため、既存の近隣ユーザーにおいては、各自治体等と連携し、マイカーからのシフトを促す方法を検討する。</u> その他、 <u>高速バスとの結節強化（駅と高速バス停のアクセス性向上等）についてもハードとソフトの両面から引き続き検討する。</u>
その他	✓ PI参加者へフィードバックしていくことも行っていただくと住民とのコミュニケーションにつながるのでは。	➡ これまで開催した検討会資料等については、沖縄県HPにて公開しているため、こちらに対し住民等から意見があれば適宜コミュニケーションを図っていく。

3. PI実施結果（追加分）

前回未報告のみ追加（琉球大学及びレンタカー利用者へのアンケート）

3-1. PIのターゲット設定

【PIのターゲット設定】

- 交通機能、拠点形成機能、ランドマーク機能の**3つの機能を高める施策の具体化に関する意見を把握**。
- 短期（特に交通実証実験）、中長期（特にまち開発との連携）のてだこ浦西駅の整備イメージの具体化を目指す。
- てだこ浦西駅及び周辺の主要な利用者像である、**①地域住民（近隣/広域）、②大学関係者、③来訪者、④事業者**をターゲット層とする。

➡ 異なる利用者像から、多様なニーズについて把握

ターゲット	利用者像	PI実施方法	把握したいこと			まとめ方 (反映方法) ※主な視点
			整備方針 について	短期的な 整備内容	中長期的な 整備内容	
① 地域住民	近隣/広域生活者	ワークショップ、 オープンハウス	各立場からの 3つの機能 (交通機能、 拠点形成機能、 ランドマーク 機能) に対する 意見出し	結節する交通の 利用意向 (生活利用)	各立場で乗換、滞 在したい場づくり の意見出し	地域住民ニーズに対応 した交通結節や待合環 境の整備等に関する施 策をまとめる
② 大学関係者	通勤、通学者等	ワークショップ、 オープンハウス		結節する交通の 利用意向 (通学利用や生活 利用)		大学をはじめとした 近 隣施設との交通サー ビス確保 に向けた施策を をまとめる
③ 来訪者 (観光客等)	来訪・乗継ぎ 利用者	アンケート、 オープンハウス		結節する交通の 利用意向 (観光利用)	情報案内強化など 観光 に関連する結节点強化 施策 をまとめる	
④ 事業者 (まち、開発等)	開発者、関係者	個別ヒアリング		実証実験など、 短 期的に実施できる 事業の関係事業者 と調整	まちづくり連携や 拠点整備など、中 長期的な取り組み が必要な事業の関 係者意見調整	事業者と連携して実施 する施策 をまとめる

3-2. PI実施内容

① 地域住民

- 実施方法 : ワークショップ形式
- 対象者 : 近隣住民 (てだこ浦西駅周辺)、広域住民 (宜野湾市、西原町、中城村など)
- 実施規模 : 各回10名程度
- 意見交換内容 : 近隣、広域住民の立場から、求められる機能 (3機能) の意見交換、短期的な実証実験、中長期的な具体的施策、自身の利用意向について



② 大学関係者

- 実施方法 : ワークショップ形式、アンケート方式
- 対象者 : 琉球大学生 (40名程度)
- 意見交換内容 : 学生・通学・通勤者の立場から、求められる機能 (3機能) の意見交換、短期的な実証実験、中長期的な具体的施策、自身の利用意向について



※琉球大学対象アンケート : 11/14 ~ 11/28 (実施終了)

③ 来訪者

- 実施方法 : アンケート、オープンハウス形式
- 対象者 : 移動形態が多様な観光客、駅への来訪者など
- 実施内容 : 県庁、てだこ浦西駅内でのブース設営、アンケート調査を想定し、全体の方針案等を提示したうえで、観光等の視点からの意見聴取を実施



※観光客向けレンタカーアンケート : 10/17 ~ 12/26 (実施終了)

④ 事業者

- 実施方法 : 個別ヒアリング形式
- 対象者 : 施策連携の可能性のある事業者・関係者 (交通、観光、まちづくりや開発、自治体)
- 実施内容 : 今後の事業展開における連携可能性、実証事業内容等について意見交換

※バス事業者、レンタカー事業者などに向け実施中



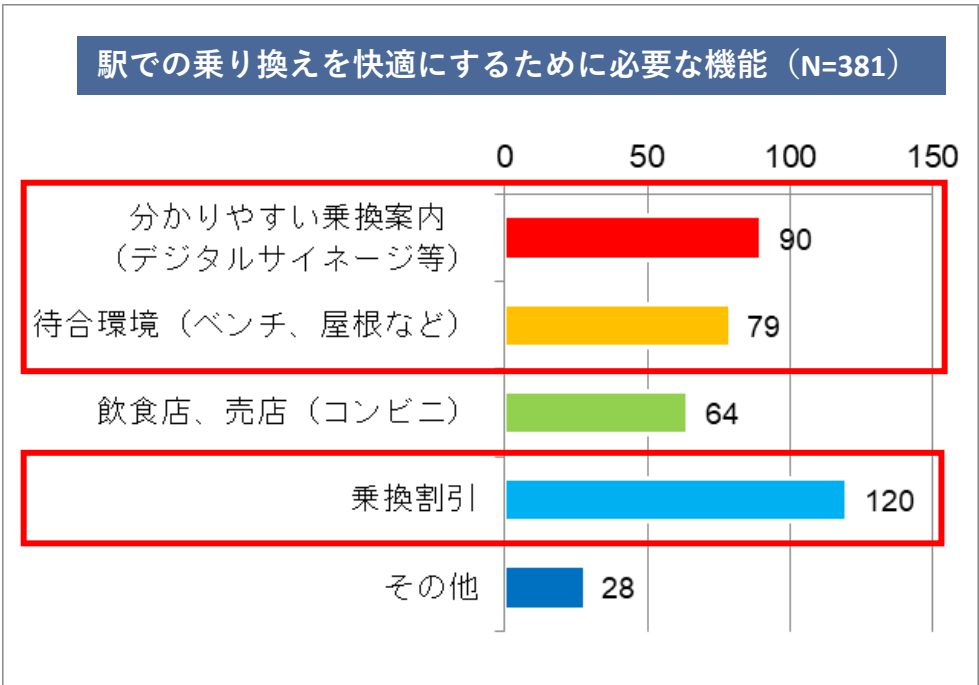
3-3. 実施結果 (大学関係者)

【琉球大学対象アンケート実施概要】

実施期間	2025年11月14日 (金) ~11月28日 (金)
実施方法	WEBアンケートフォームによる調査
対象者	琉球大学(千原及び西普天間キャンパス)の学生・教職員(計221名)
設問内容	現在の通学/通勤の状況、公共交通の利用意向 (実態、要因)、294系統の路線バスについて、てだこ浦西駅の利便性について、公共交通機関の利用意識、琉大ノーマイカウィークの意向、個人属性

【主な意見】

交通 (乗換) 機能の充実
▲要改善点・提案 ✓ 琉球大学行きのリバの明確化。 ✓ <u>バスのリアルタイム到着予想時間の表示</u> ✓ <u>バスの増便、運行本数の増加。土日祝の運行。</u> ✓ 駅構内から出ずにバスやタクシーに乗り換えできる動線。
拠点形成機能の充実
▲要改善点・提案 ✓ <u>バスやタクシーの待合所と隣接商業施設との連携</u> (待ち時間に買い物ができる環境)
ランドマーク機能の充実
▲要改善点・提案 ✓ 保育園・託児所送迎などの連携。



➡ バスとの連携強化、待合環境の整備など交通機能を重視する傾向 (その他子育てに関する要望あり)

3. PI実施結果 (追加分)

前回 (第2回) 検討会資料から追加

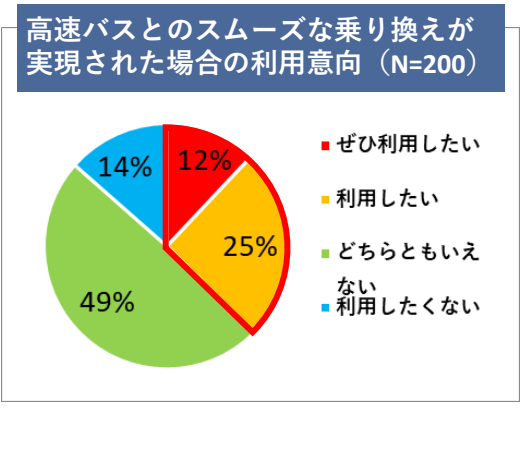
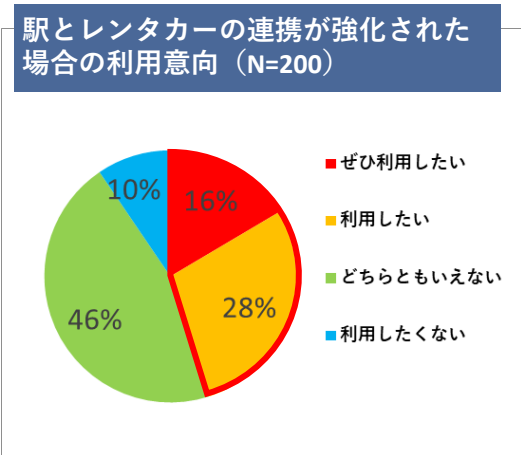
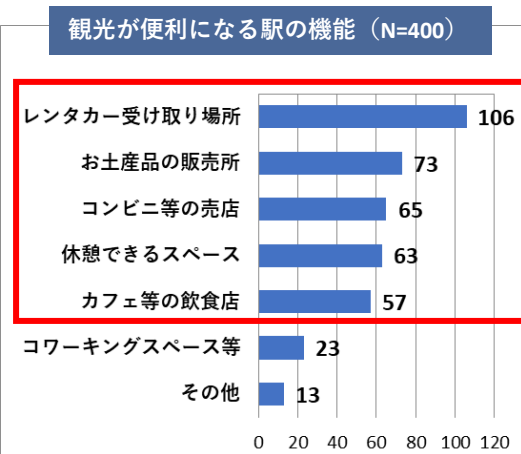
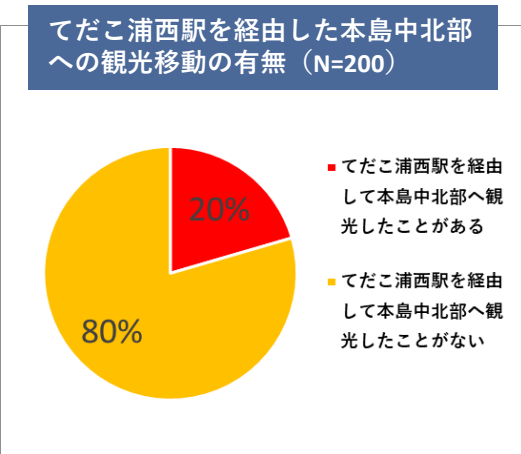
3-3. 実施結果 (来訪者)

【レンタカー利用者対象アンケート実施概要】

実施期間	2025年12月24日 (水) ~12月26日 (金)
実施方法	WEBアンケートによる意見聴取
回答者数	200票
設問内容	レンタカーの利用実態 (日数、目的地、利用した営業所エリア、主な交通手段、ただこ浦西駅に求められる機能 等)

【主な意見】

交通 (乗換) 機能の充実
▲要改善点・提案 ✓ 本島中北部へは公共交通での移動が不便である。 ✓ 高速バスとのスムーズな乗換 ができると利用したい。
拠点形成機能の充実
▲要改善点・提案 ✓ コンビニ等の売店や飲食店 があると便利。 ✓ 休憩できるスペース があると便利。 ✓ テレビなどで取り上げられたら行く人が増えると思う。
ランドマーク機能の充実
▲要改善点・提案 ✓ 土産品の販売所や周辺観光施設の情報 があると便利
その他 (分類不明)
▲要改善点・提案 ✓ 空港までの特急モノレールができると良い



➡ 駅での乗り換え (レンタカー、高速バス) 機能を重視する傾向 (その他お土産品の販売機能や休憩施設などの要望あり)

3. PI実施結果 (追加分)

前回 (第2回) 検討会資料から一部更新

3-3. 実施結果 (まとめ) 【主な意見・立場区分別】

➤ 各立場が考える主な意見 (求める機能) を表にまとめ、更に全体意見として概括し、整備計画へ反映する。

区分	交通(乗換)機能	拠点形成機能	ランドマーク機能
検討会	<ul style="list-style-type: none"> 幸地IC開業後も見据えたP&R駐車場の受入環境の改善 (増設/増設以外での対応) リアルタイム案内情報、バスの受入環境整備 高速バスとの結節強化、レンタカー機能 	<ul style="list-style-type: none"> 駅自体の目的地化、駅周辺施設との連携・結節の強化 若い世代・子育て世代のための受入環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺 (区画整理地等) の歩行環境の快適性向上
近隣住民WS (浦添市、西原町)	<ul style="list-style-type: none"> P&R駐車場の増設 駅周辺施設(総合病院、浦西団地等)を循環するバスの走行、バス案内・待合環境強化 新モビリティ(電動自転車等)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の場の整備・イベント開催 若者が遊べる施設(公園等)の整備 飲食施設(飲み屋)、図書館の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 非常時対応の宿泊施設 安全安心なまち(舗装、街灯、信号機設置など) まちのブランディング
広域住民WS (宜野湾市、中城村)	<ul style="list-style-type: none"> P&R駐車場の増設 駅発着バスの拡充、バス案内・待合環境強化 地域内の周遊バスやコミュニティバスの運行 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの遊び場(公園等)の整備 高架下を活用した飲食・カフェ・居酒屋の配置、イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の駅の開放、浦添総合病院との連携 てだこ浦西駅らしさの創出
大学生WS	<ul style="list-style-type: none"> 高速バス停との結節強化(案内、アクセス経路快適化、無料シャトルバス、傘レンタル) 駅の待合空間整備、シェアサイクル強化拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 駅にコンビニや休憩スペースを設置 高架下に飲食施設、お土産店、県内初の飲食店(サイゼリヤ)などの配置 	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民のための交流施設 駅前にシンボル設置 景観に配慮したまちづくり
県庁OH (都市圏通勤)	<ul style="list-style-type: none"> 路線バス、イベント時の臨時バスの拡充 P&R駐車場の増設、駐輪場の増設 シェアサイクルの利便性向上(ポート数増) 	<ul style="list-style-type: none"> 待合せ場所、レストラン、喫茶店などが集まる場所の配置、公園整備 本土のような駅ビルの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 北谷や名護などの観光地へ繋がるバスの運行
ゆいレールまつりOH (子育て世代)	<ul style="list-style-type: none"> 広域的なバス路線の拡充 P&R駐車場の増設 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なイベント開催 子供の遊び場整備(公園等) 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援設備の提供 災害時対応用の空間確保
追加 琉球大学 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> バスのリアルタイム運行情報の発信 バスの増便、土日祝の運行 	<ul style="list-style-type: none"> バスなどの待合所、隣接商業施設との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・託児所送迎などの連携
追加 レンタカー利用者 アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 本島中北部へ公共交通利用の利便性向上が必要 高速バスとのスムーズな乗り換え 	<ul style="list-style-type: none"> コンビニ等の売店や飲食店があると便利 休憩できるスペースがあると便利 	<ul style="list-style-type: none"> 土産品の販売所や周辺観光施設の情報がと便利
まとめ	<ol style="list-style-type: none"> P&R駐車場の受入環境整備 バス網拡充(路線・高速・地域周遊)、案内強化 レンタカー機能(デポ・受渡)の配置 	<ol style="list-style-type: none"> 日常的に使う飲食・休憩施設 駅周辺が目的地となる施設・体験 若者・子育て世代が集う施設・イベント 	<ol style="list-style-type: none"> 安全で快適な歩行環境の整備 防災・子育て支援機能充実 駅のブランディング



てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画へ反映

4. 整備計画（案）

→ 別紙 資料 2 参照

5. 次年度予定の実証事業(案)について

5. 次年度予定の実証事業(案)について

5-1. 実証事業(案)の概要

▶ 次年度（令和8年度）に実施する実証事業については、作成した整備方針（短期目標）の中から、以下3つを予定。

実証メニュー①：デジタルサイネージ案内板の設置 **【乗換案内の強化】**

実証メニュー②：駅前広場を活用したイベント開催及びキッチンカー等の誘致 **【にぎわいの創出】**

実証メニュー③：駅から琉球大学病院向けの路線バス早朝増便 **【モノレール&バスの結節強化】**

3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-2. 短期的な整備内容 13

交通（乗換）機能	拠点形成機能	ランドマーク機能
<ul style="list-style-type: none"> ● 駅構内・交通広場・駅周辺での乗換案内充実 ● レンタカー機能配置 ● P&R駐車場、駐輪場等の改善・強化 ● モノレール&バスの結節強化の取組推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的な飲食・休憩施設の提供 ● にぎわい・交流イベント等の定期開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信機能（観光案内・災害情報）の提供 ● 安全・安心の確保

引用：第2回ただこ浦西駅交通結節機能強化検討会資料より

【実証メニュー①】 デジタルサイネージ案内板の設置

実施目的

- ✓ デジタルサイネージ案内板を設置し、乗換可能なバスの路線やリアルタイム運行情報等を分かりやすく発信することで、モノレールとバスの乗り継ぎ利便性の向上を図る。

実施内容

- ✓ 駅の改札前、隣接商業施設内（調整中）でデジタルサイネージを仮設置する。
- ✓ 実証期間は約6ヶ月間を予定。

(構成図)



(反映イメージ図)



図：デジタルサイネージ掲載イメージ

【実証メニュー②】 駅前広場を活用したイベント開催及びキッチンカー等の誘致

実施目的

- ✓ 駅前広場等を活用したイベントの開催、キッチンカーの誘致を行い、日常的な駅の利便性向上及び賑わい創出を図る。

実施内容

- ✓ 駅前広場の活用可能な歩行空間にキッチンカー等を誘致する。（一定の期間常設を予定）
- ✓ これまで例年開催されてきたイベントのみならず、より多くの利活用機会を設け、イベントの分野も幅広く検討する。
- ✓ 実証期間は約6ヶ月間を予定。



事例：ゆいレールまつりの様子（2025.11.8）



事例：敦賀市国道8号（引用：ほこみちプロジェクトHP）

【実証メニュー③】 駅から琉球大学病院向けの路線バス早朝増便

実施目的

✓ てだこ浦西駅から琉球大学病院（西普天間）向けの路線バスとの接続を強化することで、那覇都市圏から宜野湾エリアへの（モノレールとバスを乗り継いだ）移動利便性向上（アクセス強化）を図る。

実施内容

✓ 既存路線の**系統294番（てだこ琉大快速線）**において、**琉球大学方面の早朝便を増便**※する。

※既存の始発便（8:30発）よりも早い時間帯で増便（詳細時刻は調整中）



- てだこ浦西駅から各主要施設・エリアに向けて、**通勤・通学に便利な時間帯（早朝）でのバス増便実証**を予定。
- **公共交通利用による渋滞回避の促進**を図る。



引用：琉球大学HP掲載図 (<https://www.u-ryukyu.ac.jp/access/>) を基に沖縄県作成

5-2. 実証メニュー詳細

【その他】地域循環バス等実証事業（沖縄県交通政策課）

地域循環バス等実証事業

背景・目的

本県の陸上交通については、慢性的な交通渋滞の解消及び、県民や観光客の移動利便性の向上を目的に、沖縄都市モノレールや基幹バス等の基幹的な公共交通の整備を行っている。

一方で、基幹的交通が整備されていない地域では、公共交通利用者の減少や、近年の運転手不足等に起因するサービスレベルの低下などの問題が顕在化しており、少子高齢化等の進展も踏まえつつ、移動不便性の課題に対応していく必要がある。

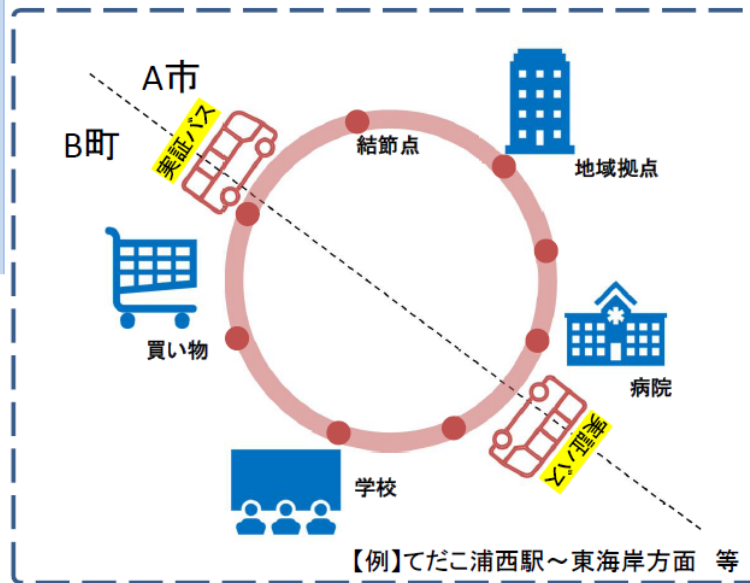
そこで、目的地まで円滑に移動できる環境の構築を図るため、異なる自治体間の交通結節点や地域拠点を繋ぐ地域循環バス等による利便性の高い公共交通ネットワーク(公共交通サービス)のあり方を検討することを目的としている。

事業概要

「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の策定と合わせて公共交通の将来のあり方の検討を進め、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ることとしている。

今回、その一環として、異なる地域間の交通結節点や、地域拠点を円滑に移動することができる環境を構築を目的に、地域循環バス等の導入可能性調査を行うとともに、導入可能性のある路線について実証実験を行う。

イメージ図



6. 意見交換

- 意見交換において、主に確認したい項目は以下のとおりです。
- 事務局の考え方に対する意見や、更に考慮すべき事項、よりよいアイデアなど、幅広く意見交換をお願いします。

(1) 高架下の整備イメージについて

- ⇒ 高架下におけるP&R駐車場の増設は検討から除外し、別の手法での改善を図る。
- ⇒ 3つの機能や快適な利用動線に考慮した配置案としている。

(2) 整備における役割分担（案）について

- ⇒ 駅周辺地域のまちづくりや地域交通との連携については、主に県・市町村との連携を図るとしている。
- ⇒ 交通機能の整備、賑わい施設の整備については、主に県・交通事業者・民間事業者が連携を図るとしている。

(3) その他